

リノモ沿線地域づくり重点プラン 2016-2020(仮称)【概要】(案)

1 策定の趣旨

【趣旨】 2009年(平成21年)3月に愛知県及び沿線市(瀬戸市、豊田市、日進市、長久手市)で策定した「リノモ沿線地域づくり構想」の主要施策が、本年度に目標年次を迎えることから、これまでの取組や外部環境の変化などを踏まえ、新たな地域づくりの取組指針を策定する。

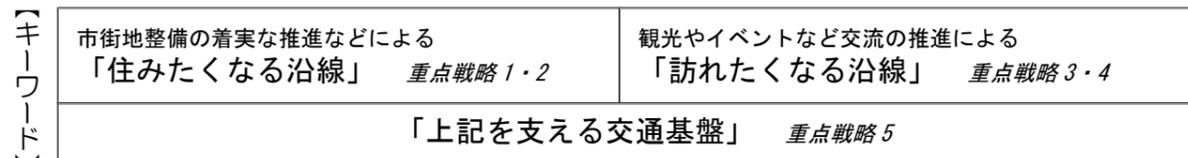
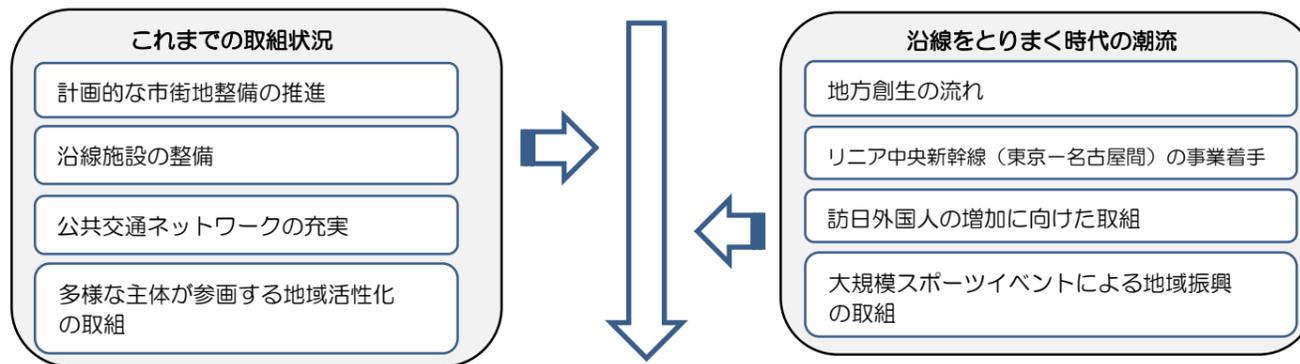
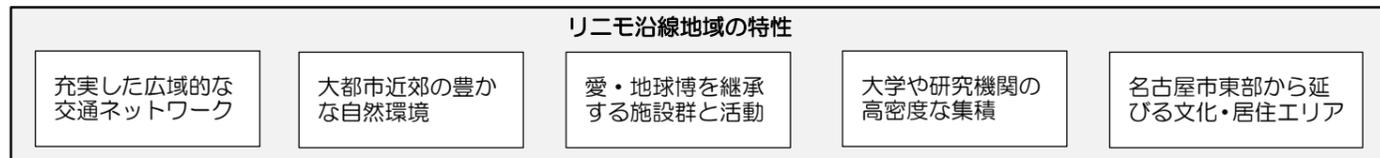
【目標年次】 2025年(平成37年)頃を展望した将来像(①愛・地球博の成果を継承・発展させるまち、②愛知の新たな飛躍をリードする研究学園地区、③リノモでつながる『コンパクト』なまち)の実現に向けて、**2020年(平成32年)を取組の目標年次と設定する。**

【対象地域】 地域づくりを計画的に誘導していくことが必要な「長久手古戦場駅」から「八草駅」までの6つの駅周辺(概ね1km圏)及び「海上の森」を主な対象地域とする。

	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025
構想	将来像 「愛・地球博の成果を継承・発展させるまち」「愛知の新たな飛躍をリードする研究学園地区」「リノモでつながる『コンパクト』なまち」																
	14の基本戦略						36の主要施策										
重点プラン												5つの重点戦略 15の主要施策					

2 重点プランの基本的な視点

- これまで駅周辺における**計画的な市街地整備により、着実に宅地や商業施設、公共施設の整備を進めてきており**、駅周辺の新たな開発適地は少なくなってきた。一方、地方創生、訪日外国人増加、リニア開業等の時代の潮流があり、新たな人の流れが注目されている。
- そこで、今後5年間は、「居住人口」を増やすための市街地整備の推進はもとより、**広域的な観光等に着眼した「交流人口」の増加に資する取組に軸足を置いて重点的にとりまとめる。**



3 5つの重点戦略

重点戦略1 集約型まちづくりと自然環境の保全

駅を中心とした市街地整備を推進するとともに、森林、里山の保全や、身近な緑、水辺を親しめる空間づくりを進め、「開発」と「保全」の調和を図る。

- ① 駅を中心とした概ね1km圏内の計画的な市街地整備の推進
長久手中央土地区画整理事業、公園西駅周辺土地区画整理事業などの推進
- ② 市街化を進める地域の機能充実 長久手古戦場駅周辺の「リノモテラス」の整備及び「古戦場公園」の再整備
- ③ 森林・農地等の緑の適正な維持管理
- ④ 水や緑のネットワーク形成の推進 「香流川緑地」の整備

重点戦略2 地域づくり活動の活性化

地域住民が主体となったコミュニティ活動の育成に取り組むとともに、沿線大学・学生との連携や、NPO等の市民活動の活性化に取り組む。

- ⑤ 沿線住民や沿線大学・学生と協働した地域づくり
- ⑥ 市民活動の活性化

重点戦略3 観光やイベントによる交流の推進

沿線施設の充実や地域資源を活用して沿線ならではの魅力の創出、発信により、リノモ沿線の観光交流を推進する。

- ⑦ 愛・地球博記念公園の充実強化 キャンプ場の整備、民間活力導入等によるこどものひろば整備の検討
- ⑧ 地域資源の活用による魅力向上 観光資源としてのリノモ活用、ポップカルチャーを活用した情報発信等
- ⑨ 広域連携による観光の推進 域外観光施設と連携したモデルルート作成、域外プロモーション活動
- ⑩ 沿線情報の一体的な発信 留学生等と連携した外国人向けPRツールの検討

重点戦略4 研究開発機能の充実

「知の拠点あいち」を中心とした研究集積を進めるとともに、共同研究や実証実験を展開し、研究開発の活発な交流を推進する。

- ⑪ 国機関等の研究施設の誘致
- ⑫ 先端研究開発や実証研究の推進

重点戦略5 交通基盤とネットワークの強化

沿線住民の日常生活や都市間、地域間の人の交流を支える交通基盤の充実とネットワークの強化に取り組む。

- ⑬ 公共交通の利便性向上 公園西駅の歩道橋等の整備、モビリティシェアリング導入の検討
- ⑭ 道路交通網の形成
- ⑮ 「エコモビリティライフ」の推進 パーク&ライド駐車場の設置検討